

令和元年度 地域発元気づくり支援金事業評価一覧

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (①:ソフト事業 ②:ハード事業)	総事業費(円)		コメント
							うち支援金額	
1	保健、医療、福祉の充実	ソフト	健康プラザうえだ健康まつり事業	上田市	働き盛り世代や子育て世代を中心とした運動不足傾向にある市民の健康増進を図るため、運動体験講座や減塩食品展示・試食等を実施する健康イベントを休日に開催した。 ①消耗品費、印刷費、講師謝金、会場設営費等(1,060千円)	1,060,000	832,000	市民を巻き込んだ実行委員会組織を立ち上げ、官民連携による「健幸まつり」を開催し、市民の健康づくりへの関心や意識を高めることができた。 また、事業終了後も実行委員が健康情報等を伝える伝道師となり、住民の自主的な健康づくり活動の推進が期待される。
2	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	地域文化の育成と魅力発信～シティプロモーション～	上田市	住民が自身の住んでいる町の価値を再認識し、自らPRしていく機運を醸成するため、上田市の文化的・芸術的側面に焦点を当てたPR動画を作成した。 ①撮影、編集、制作委託費(999千円)	999,526	799,000	市民がワークショップを通じてアーティストとの交流を図りながら、シティプロモーション映像を制作し、上田市の魅力を新たな視点で発信することができた。2年目の継続事業として、観光スポットの撮影だけでなく、普段何気なく見ている日常の風景や地元住民でも知らない場所などを映像によって違った角度から伝えるなど、事業の工夫や発展性も見られた。
3	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	上田市結婚支援事業「上田市縁結びプロジェクト」	上田市	未婚化の解消に向けて、SNSを活用した結婚機運向上プログラム、独身者向け婚活セミナーや交流イベント、結婚相談員のスキルアップセミナー等の結婚支援事業を展開した。 ①事業委託料(2,065千円)	2,065,296	1,548,000	市内関係団体で構成する結婚支援ネットワーク実行委員会が主体となり、婚活セミナーと出会いイベントを開催するとともに結婚相談員のスキルアップセミナーやSNSを活用した結婚相談を行うなど、支援体制の強化も図ることができた。さらに、3年目の継続事業として、参加者を39歳以下と40歳以上に分け、40歳以上の方のイベントへの参加促進と39歳以下はセミナーと交流会を連続開催とすることで、異性に選ばれるためのスキルアップとマッチングの増加を図るなど、事業の工夫や発展性も見られた。
4	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	東御市結婚活動支援事業「であうとうみ」	東御市	人口減少や未婚化・晩婚化への対策として、コミュニケーションスキル向上のための講演会や男性向けセミナー、出会いを創出する恋活イベント、相談事業との連携等を実施した。 ①事業委託料(714千円)	714,000	535,000	市内関係団体で構成する結婚活動支援実行委員会と連携しながら、結婚適齢期の子どもを持つ親世代を対象とする講演会や出会いのイベントを開催するなど、地域協働による結婚活動支援を行うことができた。また、イベント開催後に実行委員会において事業の課題等を共有し、意見交換を行うなど、地域を挙げて結婚活動を支援していく機運の醸成や環境づくりに繋がる取組となった。
5	教育、文化の振興	ソフト	日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」推進事業	長和町	日本遺産認定の意義等に関する住民理解の浸透と地域の機運形成を図るため、ジオラマ、HP等を作成し、記念コンサートを開催した。 ①ジオラマ等製作費、出演料、会場設営費等(1,087千円)	1,087,258	869,000	日本遺産認定の「黒曜石鉱山」のジオラマをステージに見立てて、日本遺産コンサートを開催するとともに、新たにホームページを開設し、地域資源の魅力を発信することができた。また、ジオラマを住民協働で制作することにより、地域住民が日本遺産をより身近に感じてもらう契機となった。
6	教育、文化の振興	ソフト・ハード	歴史遺産を核としたオリエンテーリングモデル事業	長和町	鉱山や遺跡などの歴史遺産や黒曜石を観光資源としてPRするため、黒曜石鉱山等を巡るバスツアーの開催、案内看板の設置等を実施した。 ①消耗品等(171千円) ②解説看板設置費(1,163千円)	1,334,079	1,008,000	住民との協働により日本遺産に認定された黒曜石鉱山と県宝の仏岩を見学しながら町内を1周するバスツアーを開催し、地域資源の再発見と魅力を発信することができた。また、黒曜石鉱山等の解説看板の設置により、ツアー参加者に歴史的遺産の特徴や魅力を正しく伝えることができた。さらに看板に英訳や日本遺産認定マークを表示したことにより、今後日本遺産を活用したインバウンド対策の推進が期待される。

令和元年度 地域発元気づくり支援金事業評価一覧

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (①:ソフト事業 ②:ハード事業)	総事業費(円)		コメント
							うち支援金額	
7	保健、医療、福祉の充実	ソフト	長和町子育て支援・移住促進のためのガイドブック作成事業	長和町	核家族化により孤立しがちな子育て世代の不安解消や、移住・定住促進のツールとして活用するため、子育て支援制度や体験談などをまとめた子育てガイドブックを作成した。 ①印刷製本費(341千円)	341,000	255,000	子育て中の住民の意見等を取り入れるなど、住民協働による子育て支援制度等を分かりやすくまとめた子育てガイドブックを作成することができた。また、ガイドブックの概要版も作成し、移住希望者に充実した子育て施策をPRするなど、移住促進に繋がる取組となった。
8	保健、医療、福祉の充実	ソフト・ハード	アニマルシェルター整備事業	特定非営利活動法人 一匹でも犬・ねこを救う会	猫の里親への早期引き渡しなどによる殺処分猫の根絶を図るため、保護猫や避妊手術猫等の一時的な保護施設アニマルシェルターの環境改善を行った。 ①カーペット資材費(120千円) ②建物修繕費、空調整備費(488千円)	608,607	415,000	アニマルシェルターの床貼り、空調設置、駐車場デッキ補強工事により、施設の安全・衛生環境を改善し、猫の健康状態を良好に維持できるようになった。一時保護・再譲渡の活動拠点としての機能が向上し、犬猫殺処分ゼロの持続が期待される。
9	農業の振興と農山村づくり	ソフト・ハード	若者自立支援への農業の活用と上田市の新しい特産品の創出	認定NPO法人 侍学園 スクオーラ・今人	農業体験による若者の自立を促進するとともに、大豆「こうじいらす」コーヒーの商品化に向けてパッケージデザインの開発や試作品の作成、企業での試飲アンケート調査などを実施した。 ①消耗品費、農機具購入費、印刷費(275千円) ②農機具購入費、コーヒー焙煎機等購入費(1,059千円)	1,334,591	922,000	大豆コーヒーづくりを通じて農業への理解、コミュニケーションの活性化やものづくりに対する興味を示すきっかけづくりとなり、若者の自立、就業促進に寄与した。また、大豆コーヒー開発では、協力店舗等を開拓してより多くの試飲調査を実施し、協力店舗等からは商品化に向けた改善提案も得られ、今後の発展が期待される。
10	商業の振興	ソフト	上田まちなかイタリア交流ブランディング推進事業	上田商工会議所	上田市中心市街地の活性化と地域資源のブランディングを図るため、ラグビーワールドカップイタリア代表による菅平高原でのキャンプを契機に、イタリアについて学ぶ連続講座、フェスタの開催及び海外を視野に入れた情報発信等を行った。 ①講師謝金、広報費等(1,748千円)	1,748,947	1,386,000	イタリア交流講座は、気軽に参加できるイタリア語講座や精進料理講座など訴求対象を明確にして実施し、事業効果を高める工夫がされていた。ブランディング支援は、イタリアを始めとする外国人の考え方や文化の違い等を学ぶ機会を提供することにより、販路開拓・商品開発の契機となった。イタリア代表チーム合宿を契機に多くの市民がイタリアへの興味・関心を持つ機運醸成に大きく貢献した。
11	教育、文化の振興	ソフト	信州上田”やまほいくの里山”プロジェクト-地域資源を保育に繋げよう-	学校法人北野学園 上田女子短期大学	地域に愛着を抱けるような自然保育の在り方を様々な立場の専門家や自治体と協働し、保護者、子ども、学生等と自然体験活動や先進地視察研修等を通じて考え、交流する機会を作った。 ①講師謝金、広告費、バス借上げ代等(850千円)	850,830	680,000	地域活動を実践する者等を講師として招聘することにより、参加者が地域資源の価値を一層深く再認識する機会となった。また学生とアシスタントによるディスカッションを実施し、学生の主体性の向上が図られた。先進地視察は参加者を公募し、より多くの者が参加できるよう工夫した。
12	教育、文化の振興	ソフト	農民美術・児童自由画100周年記念事業	農民美術・児童自由画100周年記念事業実行委員会	農民美術制作100年を記念し、企画展、シンポジウム、体験講座等の開催及び記念誌の発行を行った。 ①会場設営費、企画展運営費、印刷費、講師謝金、広報費、記念誌作成費等(12,166千円)	12,166,938	4,363,000	展覧会、シンポジウム、作品を開設するリレートーク、体験講座等を開催し上田地域を発祥として全国に普及した「農民美術」「児童自由画」運動の理解浸透を図った。また、小中学生の招待や街中での作品展示等により、住民が地域産業に触れる機会を増やすなどの工夫が見られた。

令和元年度 地域発元気づくり支援金事業評価一覧

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (①:ソフト事業 ②:ハード事業)	総事業費(円)		コメント
							うち支援金額	
13	教育、文化の振興	ソフト	上田街中演劇祭 2019-演劇による地域振興と演劇文化担い手育成事業	一般社団法人シアター&アートうえだ	演劇を身近に体感し、中心市街地が文化的に活性化していくことや、地域間・世代間の交流創出を目指し、上田中心市街地の複数会場で演劇祭やワークショップを開催した。 ①出演料・宿泊費、舞台運営委託費等(6,336千円)	6,336,163	4,578,000	中心市街地の商店街に面した会場や空き店舗を活用した演劇祭の開催により、演劇鑑賞を身近で提供するとともにワークショップやボランティアスタッフ等の市民参加の機会を設けるなど、文化芸術に触れる機会の増加及び担い手育成に取り組んだ。また、世代間交流や観客同士の新たな交流が生まれ、商店街の賑わい創出と活性化に寄与した。
14	教育、文化の振興	ソフト	子どもアトリエを活用した創造活動プログラム	子どもアトリエ運営委員会	小中学生までの子どもたちが、芸術に触れ、学校では体験できないような創作活動に取り組み、自立心や情操を育むことができるよう、様々なプログラムを展開した。 ①講師謝金、消耗品費(2,181千円)	2,181,401	1,530,000	普段、園や学校では体験できないような芸術活動を通じて、子どもたちの創作意欲をかき立て、自分で考え表現したり、他者の作品を鑑賞し、考え方や価値観の違いを認める機会となった。また、子どもアトリエサポーターによる新たな取組は、今後の定着が期待される。
15	地域協働の推進	ソフト	みんなの居場所作り事業	上田ボランティア連絡協議会	高齢者や障がい者などが地域で孤立化するケースが増える中、地域住民が安心して暮らせる支え合いの拠点(居場所)づくりを行った。 ①講師謝金、会場費、チラシ制作費等(1,176千円)	1,176,299	934,000	子どもを中心に住民が集える居場所を開設して、子どもカフェ、介護予防のための音楽レクレーション講座、不登校など子育ての悩み相談などの拠点として活用し、多世代が集い、地域住民が支え合える仕組みづくりに取り組んだ。また、子どもたちが作成したポスターの活用による居場所の認知向上や、自治会、ボランティア等との連携による運営体制の強化など継続に向けた工夫が見られた。
16	安全・安心な地域づくり	ソフト	一場所多役の子どもの居場所事業	NPO法人子育て応援団ぱれっと	貧困や障がいなど多様な課題を抱える家族等を地域で支える居場所を創出し、食事提供、学習支援等を実施するとともに、それに関わるスタッフの研修を行った。 ①チラシ制作費、講師謝金・学習教材等(441千円)	441,239	352,000	子どもレストランの開催、学習支援等、子どもの居場所の提供に取り組んだ。定期的の開催されているため認知度も向上し、多くの参加者があり、多世代の交流も促進した。様々な家庭支援の仕組みが可能となり、子どもレストラン等を通じて次のステップへつなげることができた。
17	特色ある観光地づくり	ソフト	アクティブウェルネスツーリズム事業	ウェルネスツーリズム研究会	地域資源を活用した体験型ツーリズムの造成を目指して、プログラムの研究、開発及びトライアルツアー等を実施するとともに、HPやパンフレットを制作し、プログラム等の情報発信も行った。 ①HP制作委託費、印刷製本費、講師謝金等(1,396千円)	1,396,018	1,028,000	これまで個々に単発で行われてきたツアーコンテンツをテーマごとに体系化し、新たなツアープログラムとして提案することができた。各分野の専門家と協働し、上田地域ならではのプログラムが企画できた。
18	保健、医療、福祉の充実	ソフト	元気な老後のための市民公開講座開催事業	学校法人 成田会	講演会の開催や、口腔ケア・音楽療法などに関する公開講座の開催、啓発パンフレットの作成等により、高齢者の健康増進を図るとともに、住民との交流により学生の学びの充実を図った。 ①講師謝金、消耗品費、印刷費(1,024千円)	1,024,205	764,000	専門家による基調講演と合わせて、口腔ケアに関する専門的知識を提供し、参加者の健康づくりに貢献した。相談ブースを設け、住民の悩みに直接接することで、学生にとっては学んでいることの有意性を認識することにつながった。パンフレットの配布を通じて、広く住民にオーラルフレイル予防について発信することができた。

令和元年度 地域発元気づくり支援金事業評価一覧

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (①:ソフト事業 ②:ハード事業)	総事業費(円)		コメント
							うち支援金額	
19	教育、文化の振興	ソフト	重文常田館製糸場施設活用事業	NPO法人 絹の文化・蚕都常田館	常田館製糸場施設を上田歴史周遊の一観光拠点とするため、展示会場の照明整備や体験講座の開催、ボランティアガイドの養成等を実施するとともにパンフレットを作成し情報発信を行った。 ①講師謝金、展示会場照明整備、パンフレット作成費等(412千円)	412,409	322,000	蚕糸文化展示会場を整備し、上田歴史周遊拠点にふさわしい受入体制を構築することができた。また、親しみやすい蚕糸文化講座を通じて、楽しみながら地域文化を理解する取組を実施し、パンフレットは日英版とし、外国人、日本人問わず利用できるように工夫した。
20	農業の振興と農山村づくり	ソフト	「信州上田なないろ農産物」ブランド化事業	上田地産地消推進会議	多様性のある「信州上田のなないろ農産物」のブランド化と地産地消を推進するため、PR冊子の作成、高校生レストランの開催、みどり大根収穫祭等を実施した。 ①商品展示会出展料、収穫祭経費等(3,393千円)	3,393,340	2,714,000	「高校生レストラン」では、地元高校生と連携し多くの上田市産農畜産物や地元企業の加工品を使ったメニュー作りができたことで、多種多様な魅力ある産品が地元で作られていることをPRできた。「うえだみどり大根の収穫祭」では、台風災害の直後にも関わらず多くの集客があり、一昨年からの積み重ねで認知度が高まっていることがわかる。これまでの事業も含め、作成したPR冊子を使いながら様々な場面で上田市産農畜産物への理解の醸成を進める事業展開が期待される。
21	特色ある観光地づくり	ソフト	別所市場・太陽と大地のマルシェ継続実施と食と農業を軸とした地域振興事業	別所温泉観光協会	別所温泉中心部の温泉施設跡地において農産物直売所「マルシェ」、ステージイベント、講習会、ヨガやウォーキング指導等を実施した。 ①出演料・講師料、設営費、広告宣伝費(2,226千円)	2,226,616	1,669,000	着実に地域イベントとして定着してきており、今後も更なる地域活性化に向けた取組に繋げようとする関係者等の意気込みも強く感じられ、別所温泉の未来を見据えた観光地づくりへの取組として意義深い成果があった。
22	その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大	ソフト	上田地域産業展を見に行こう！”子供たちに地元の産業と企業を知ってもらおうプロジェクト”	上田商工会議所	子ども達が地元産業や企業について学習し、将来の職業選択の際には地元企業等が選択肢となるよう産業展に子ども達を招待した。地元産業について理解してもらうための動画を作成した。 ①印刷費、バス賃借料、広報費、謝金(899千円)	899,576	719,000	小中学生向けの動画を作成し、当日はコンシェルジュを用意するなど子ども達にわかりやすく伝える工夫をし、上田地域の企業と産業を知る機会を提供することができた。
23	教育、文化の振興	ソフト	山城の魅力発信と保全・活用による地域振興事業	全国山城サミット上田・坂城大会実行委員会	2020年に上田地域で開催する全国山城サミットを契機に、太郎山山系に点在する山城の魅力向上と情報発信、保存活動の人材育成を図るため、登山道整備、案内板設置、プレ大会開催等を実施した。 ①講師謝金、印刷費、案内版等制作費、重機賃借料、重機作業謝礼、消耗品費等(1,374千円)	1,374,628	1,057,000	令和2年度に上田市を会場に開催される「全国山城サミット」に向けて準備を進めるとともに、プレ大会を開催し、「サミット盛り上げ隊」の取組が生まれるなど、サミット開催の機運醸成を図ることができた。
24	教育、文化の振興	ソフト	こだまジャズ開催事業	こだまジャズ実行委員会	音楽を中心としたイベントにより文化の発展、地域産品の情報発信及び交流人口増加による地域活性化を図るため、上田市の信州国際音楽村でジャズフェスティバルを開催した。 ①アーティスト出演料、会場費、広告費等(764千円)	764,922	371,000	ジャズフェスを通して地域食材や特産品のPRをはじめ、地元住民との協働による地域振興に寄与するとともに、県内外からの誘客にも繋げるなど観光振興にも貢献した。今後も地域資源を活用したイベントとして定着することで、地域の活性化や集客力向上が期待される。

令和元年度 地域発元気づくり支援金事業評価一覧

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (①:ソフト事業 ②:ハード事業)	総事業費(円)		コメント
							うち支援金額	
25	商業の振興	ソフト	ラグビーW杯イタリア代表合宿に伴う「そばパスタ」「応援メニュー」提供による地域活性化	真田町商工会	ラグビーW杯を契機に、イタリアの食文化と融合した「そばパスタ」や「応援メニュー」の開発・提供により、受入態勢の強化及び地域の活性化を図るとともに、W杯日本大会の機運醸成を図った。 ①マップ等印刷費、のぼり旗製作費等(517千円)	517,560	356,000	イタリア代表が菅平高原に合宿で訪れる「ラグビーW杯」を好機として、地域の食材である「そばパスタ」を「イタリア」つながりでオリジナルメニュー化し、魅力発信にも取り組むことができた。また、地元地域が世界のトップ選手が訪れる日本有数の合宿地であるということに住民に認識してもらうことで、地域への愛着の醸成の機会とすることができた。
26	特色ある観光地づくり	ソフト	地域公共交通と観光2次交通の融合による地域2次交通運行システムの確立形成事業	(一社)信州とうみ観光協会	地域交通及び観光二次交通の一元管理による「地域2次交通運行システム」の確立に向けて、総合窓口を設置するとともに周遊マップを作成し、観光客の周遊を促進するとともに、満足度調査の実施により効果検証を行った。(内容確認して書き方検討) ①広告宣伝費、案内オペレーター費、HP作成費等(2,114千円)	2,114,448	1,400,000	情報発信から、周遊型観光商品の造成、民間交通事業者と連携した運行実証実験まで、観光二次交通の確立に向けて総合的な取り組みを実施することができた。今後集約した利用客の満足度調査結果を基に、事業の更なる向上が図られることが期待される。
27	教育、文化の振興	ソフト	湯の丸高原におけるスポーツを通じた健康増進事業	東御市陸上競技協会	子ども達を中心とした市民の健康増進を図るため、ランニングカーニバルやミニ駅伝大会を湯の丸高原スポーツ交流施設で開催した。 ①講師謝礼、消耗品費、印刷費等(549千円)	549,760	420,000	イベント開催日が他の競技大会と重なり、「小学生駅伝大会」は開催日程を変更して対応したものの、「ランニングカーニバル」とともに目標の参加者数には届かなかった。全体として事業は予定どおり実施することができ、湯の丸高原の本格的なスポーツ施設を活用して、地域のスポーツ振興と参加者の健康増進を図ることができた。
28	特色ある観光地づくり	ソフト	「柵津里山の草花、樹木のガイドブック」の作成とその活用	柵津地域づくりの会	柵津地域の草花・樹木に関するガイドブックを作成し、配布するとともに、小中学校の学習教材等に活用してもらうことができた。また、案内人を育成するための里山草花講座を開催した。 ①冊子作成費、講師謝金等(636千円)	636,605	509,000	柵津地域で見られる樹木や草花をまとめたガイドブックを作成し、里山歩きでの需要に応えられる冊子を作成することができた。完成した冊子は、地域への全戸配布や学校教育に活用されることにより地域住民の郷土への愛着を育むとともに、自然を楽しむために地域外から訪れる観光客への案内ツールとしても活用されることが期待される。
29	教育、文化の振興	ソフト	インバウンド実践事業	東御市おもてなしネットワーク	インバウンド用の多言語ホームページを開設し、観光情報を発信した。また、インターネット上に問い合わせ窓口を開設するとともに、多言語の案内用ガイドブックを制作した。 ①HP制作委託費、印刷製本費(1,013千円)	1,031,800	784,000	多言語による東御市の情報発信だけでなく、外国人旅行者向けのガイドの受付ができるホームページを作成することができた。また、中学生向けの英語版ガイドブックの作成・配布、外国人をモニターとしたガイド研修による人材育成を行うことで、東御市のインバウンド環境の整備を促進することができた。
30	教育、文化の振興	ソフト	「八重原用水開発の祖 黒澤嘉兵衛の生涯」の子ども向け刊行事業	八重原用水の歴史と維持を学ぶ会	八重原用水を開削した黒澤嘉兵衛の功績を子ども達に正しく伝えるため、漫画冊子の刊行し、市民向けの見学会や案内人を育成した。 ①漫画制作委託費、印刷費、講師謝金(1,925千円)	1,925,000	1,540,000	「マンガ化」することにより、気軽に手に取りやすい冊子を作成することができた。刊行記念講演会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となってしまったが、社会科の授業等の機会を捉えて、子どもたちに八重原用水の歴史を教える取組の継続が期待される。

令和元年度 地域発元気づくり支援金事業評価一覧

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (①:ソフト事業 ②:ハード事業)	総事業費(円)		コメント
							うち支援金額	
31	教育、文化の振興	ソフト	地域ぐるみで家族への想いを共に感じ考える活動事業	東御ひだまり家族村	家族の大切さや地域づくりを共に考えるきっかけを作るため、朗読劇の公演を開催した。 ①公演料、講師謝金、印刷費等(2,936千円)	2,936,639	2,301,000	3年目の事業として、これまでの活動が今後も地域に根付くよう人材育成を行った。また、プロによる朗読劇の観覧者も合わせると、3年間で当事業に関わった市民等は約1,800人となり、家族の大切さを地域ぐるみで考え、家族間交流と地域のつながりの醸成を図ることができた。
32	特色ある観光地づくり	ソフト	第22回高所トレーニング国際シンポジウムおよび啓発イベント事業	(公財)身体教育医学研究所	高所トレーニングの理解を深め、市民の湯の丸高原に対する愛着や誇りの醸成及び健康増進の推進を図るため、市民向け国際シンポジウム及び啓発イベント(陸上・水泳)を開催した。 ①シンポジウム、啓発イベント開催費(3,781千円)	3,781,886	2,981,000	高所トレーニングに適した地域の特長を活かしてスポーツ合宿の受け入れに2018年度から本格的に力を入れている湯の丸高原において、地域を挙げて来訪者を迎える機運の醸成等を目的にシンポジウムやイベントを開催した。参加した地域内外の多様な人たちが情報交換を通して交流を深めるとともに、地域に対する市民の愛着や誇りの向上を図ることができた。
33	教育、文化の振興	ソフト	雷電為右衛門顕彰普及事業どんどこ! 巨大紙相撲大会	しげの里づくりの会	史上最強の力士と名高い雷電為右衛門の生誕地である東御市において、協調性、協働性を育むとともに、東御市及び雷電の認知度を高めるため、幅広い年齢層と様々なグループが参加する巨大紙相撲大会を開催した。 ①講師謝金・旅費、土俵制作費、材料費等(851千円)	851,071	671,000	幅広い年齢層の参加があり、ワークショップによる学習・交流を通して、東御市や雷電の認知度向上が図られるとともに、楽しみながら住民が交流し、地域文化を学習する場とすることができた。今後の継続開催に向けて更に知名度を高めるとともに、自立での開催に向けたノウハウ獲得等計画的に準備が進められた。
34	農業の振興と農山村づくり	ソフト	「日本一のくるみの里・東御市」ジャンプアップ事業	日本くるみ会議	くるみの生産支援、品質向上及び消費拡大を図るため、くるみの栽培指針の作成、栽培講習会の開催、くるみ料理レシピ本の発行等を実施した。 ①栽培指針制作委託費、講師等謝金、写真撮影費、印刷製本費(3,460千円)	3,460,919	2,764,000	農業改良普及センターやJAクल्ミ部会などと連携し、熟練農業者の技術を整理、明確化した栽培工程を「信濃くるみの栽培方針」としてまとめることができた。剪定講習会なども併せて開催し、栽培技術の向上に努めた。レシピ本は料理関係者だけでなく、作成過程で地元高校生を交えて実施し、地域特産品への理解を深める機会を設けた。
35	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト・ハード	田沢地域の魅力を発掘・発信。外来者呼び込み実践事業	田沢おらほ村活性化委員会	観光客及び地域住民が憩える居場所づくりや遊歩道整備等を実施し、地域の魅力向上と誘客促進による田沢地域の活性化を図った。 ①家具整備費、駐車場整備委託費、消耗品費等(601千円)	601,089	471,000	テーブル・イスを配置し、駐車場を整備することで、地域住民が集会やイベントを開催する場としてだけでなく、観光客が気軽に立ち寄り休憩できるスペースとして活用し、様々な世代や地域の人が交流する場づくりを進めることができた。また、昨年度に引き続き遊歩道の整備を行い、誰でも気軽に散歩できる環境を整えることで、周辺施設も含め田沢地域を訪れる人を増やす活動が推進された。
36	教育、文化の振興	ソフト	学びによるものづくりワークショップ	御牧ふれあいの郷づくり協議会	子ども達に豊かな発想を持ってチャレンジして生きる力を身に付けてもらうことを目的に、陶芸家・工芸家・染色作家・金属作家によるワークショップや講演会を開催した。 ①講師謝金・旅費、機材等整備費、消耗品、広報費等(1,512千円)	1,512,575	1,178,000	ワークショップでは、親子で参加しやすいものから鑄金のように普段あまり体験できないものまで幅広く提供し、講師も地域のアーティストに依頼することで世代を超え、住民の交流を深めることができた。また、記録集を制作し、活動報告、広報に努めた。今後の地域コミュニティ活性化につながる活動が期待される。

令和元年度 地域発元気づくり支援金事業評価一覧

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (①:ソフト事業 ②:ハード事業)	総事業費(円)		コメント
							うち支援金額	
37	特色ある観光地づくり	ソフト	日本遺産を核とした長和町映像発信による観光振興事業	信州・長和町観光協会	日本遺産認定を契機に、国内外を視野に入れた情報発信及び誘客促進を図るため、黒曜石をテーマとした多言語のプロモーションビデオを製作した。住民を対象としたSNS動画講座を開催し、情報拡散の拡大を図った。 ①映像制作委託費、講師謝金、印刷費、消耗品費(2,408千円)	2,408,450	1,907,000	地域住民向けワークショップの開催により住民による情報発信を促すことができた。また、町全体をPRする映像の制作により、地域が一体となったプロモーションを進めることが期待される。
38	特色ある観光地づくり	ソフト	マルメロ夜イチ事業	マルメロ市実行委員会	道の駅「マルメロの駅ながと」を多くの観光客が楽しめる観光スポットにするとともに、地元住民の利用数も増やすため、ナイト・マーケットイベント「マルメロ夜イチ」を開催した。 ①会場設営費、広告料、提灯製作代、出演料、印刷費等(2,663千円)	2,663,987	1,879,000	3年目の事業であり、定着化に向けてより多くの住民や観光客への働きかけを行い、前年度を上回る来場者を集めることができた。また、フォトコンテストをはじめ、出店店舗や道の駅で一定額以上の買い物をするなど、参加型イベントとしての楽しみを強化して地域定着を図ることができた。
39	教育、文化の振興	ソフト	スキー産業を支える人材と「スキーで世界に羽ばたく人材」育成事業	長和町スキー振興協議会	スキー産業の担い手の育成を図るため、競技用スキー板を購入し、スキー教室の開催やスキー競技の指導を実施した。 ①スキー指導委託、登録事務委託、競技用スキー板等購入費(3,577千円)	3,577,740	2,662,000	キッズから小中学生までを対象とするスキー教室、スキー練習会、スキー大会を地域の関係団体と連携して、開催することができた。2年目の事業で地域に定着してきており、将来のスキー産業を担う人材の育成及び産業振興に繋がることを期待される。
40	特色ある観光地づくり	ソフト	RUN&BEER NAGAWA 開催事業	RUN & BEER NAGAWA実行委員会	地域の観光拠点であるエコーバレースキー場を活用したトレイルランニングの開催と食文化を発信するイベントを実施し、姫木平の新たな楽しみ方の提案により、健康増進とグリーンシーズンの観光振興を図った。 ①印刷費、会場設営費、出演料、講師謝金、測定器具賃借料等(1,623千円)	1,623,967	1,299,000	来場者により長く滞在して地域の魅力を感じてもらえるコンテンツを用意するなど、グリーンシーズンのスキー場を活用した新しいアクティビティを提案することができた。また、県内外から多く参加してもらうために、雑誌広告、PR動画のHP・SNS掲載など多様な情報発信を行うとともに、地域住民と協働してイベントを準備し、地域の飲食店にも出店にしてもらうことにより、地域の活性化を図ることができた。
41	教育、文化の振興	ソフト	市民との協働による演劇製作事業	上田市	地域の文化活動の活性化と担い手の育成を目的に、市民とプロの劇団等が協働して演劇を制作した。 ①文芸費、舞台費、印刷宣伝費等(5,099千円)	5,099,830	3,147,000	稽古段階から市民が制作助手として参加するなど、劇団と市民との協働による演劇制作を行うとともに、演出家などの劇団員と市民との交流も実施し、舞台芸術を身近に感じてもらう機会を創出することができ、地域の文化芸術の担い手の育成と文化振興を図った。
42	教育、文化の振興	ソフト・ハード	アケボノゾウ化石クリーニングルーム整備事業	東御市	アケボノゾウ化石の発掘調査及びクリーニング作業を促進するため、化石のクリーニングルームを整備するとともに、住民の関心を高める勉強会を開催した。 ①ワークショップ講師謝礼等(135千円) ②クリーニングルーム設置工事(2,631千円)	2,766,800	1,416,000	これまでに発掘した化石や関連資料の展示・保管場所付近に化石のクリーニングルームを整備することができた。また、住民を対象とした勉強会などを開催し、住民の関心を高め、市民協働による化石の整備・研究に繋がることを期待される。

令和元年度 地域発元気づくり支援金事業評価一覧

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (①:ソフト事業 ②:ハード事業)	総事業費(円)		コメント
							うち支援金額	
43	教育、文化の振興	ソフト	青木村国際交流事業 義民太鼓こまゆみ会アイルランド文化交流事業	青木村	青木村無形文化財の「義民太鼓」を通じて、青少年の人材育成と国際社会への関心を高めるとともに、「義民太鼓」の認知度向上を図るため、アイルランドでの公演と文化交流に必要な備品等を整備した。 ①横断幕等交流事業費(605千円)	605,988	415,000	海外公演に向けて事前学習や自己目標設定により国際社会や異文化への関心を高め、交流が一層深まるように工夫した。現地では横断幕やPRグッズ等を活用して一般市民や学生と交流し、義民太鼓の認知度向上を図るとともに、現地の伝統打楽器にも触れ、相互理解を深めることができた。また、親元を離れて共同生活を体験したことで、子どもたちに自立心や主体性、積極性などが培われ、義民太鼓こまゆみ会の活動にも活気が出るのが期待される。
44	特色ある観光地づくり	ソフト	～青木の先人、五島慶太翁 没後60年～「誇らしきわが郷土」再発見事業	青木村	青木村の先人の五島慶太翁の功績を顕彰し、後世に伝えるとともに、関係人口の創出を図るため、「五島慶太未来創造館」開館に向けた資料の収集及び住民を対象とした学習会を開催した。 ①資料整理費、講演会費等(2,710千円)	2,710,898	2,166,000	五島慶太翁に関係する企業等と連携強化を図りながら、講演会及び展示会の開催、「五島慶太未来創造館」開館に向けた資料の収集、整備、広報媒体の作成等を実施し、郷土の地域資源の再発見及び関係人口増加の取組を行った。また、慶太翁が創立した学校法人五島育英会東京都大学とは包括連携協定を締結しており、慶太翁を縁として関係人口が拡大していくことが期待される。
45	その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大	ソフト	地元職業高等学校と地域企業担当者の情報交換会開催事業	東信州次世代産業振興協議会	地元企業の人材確保支援を行うとともに、ミスマッチによる離職率を低下させ郷学郷就の産業人材を育成するために就職を控えた高校生と地域企業について知ってもらう場を提供した。 ①会場設営費、パンフレット作成費等(1,994千円)	1,994,300	1,595,000	企業情報を掲載したパンフレットを作成し、地元職業高校と地域企業との情報交換会を開催した。生徒自身に企業研究をしてもらうことで就職ミスマッチを防ぎ、地域企業への就職促進に貢献した。地域内高校の進路指導室担当教諭にも参加を呼びかけ、理解を深めてもらうことができた。パンフレットでは、先輩社員の声や企業の強み等を掲載するなど工夫をし企業自体の魅力をPRする内容となった。
46	その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大	ソフト	第2回信州上田たろうフェスティバル	(一社)上田青年会議所	信州上田の魅力を知って理解を深めてもらうため、食事、物産、音楽等が体感できるイベントを開催した。 ①チラシ等制作費、出演料・交通費、会場設営費等(3,367千円)	3,367,348	2,540,000	新米ご飯の無料配布とおかずブースの出店により、「食」を通じて地域産業の魅力を発信することができた。内容を見直し、より幅広い年齢層に地域の魅力を発信するとともに、「MYちゃん」の持参やボランティア清掃等を通じて、プラゴミ削減等に対する意識醸成を図った。
47	特色ある観光地づくり	ソフト	MTB忍者ライドによる地域PR推進事業	鹿教湯温泉旅館協同組合	鹿教湯温泉の新しいイメージを発信し、新規顧客を獲得するため、マウンテンバイクガイドツアー「忍者ライド」の本格的に稼働に向け、情報発信用のウェブサイトを作成した。 ①OTAの掲載等(417千円)	417,800	334,000	台風19号災害により当初計画していた事業の主な内容であるマウンテンバイクツアーは実施できなかったが、来年度以降のツアー実施に向けて、今年度制作したウェブサイトを活用して国内外に情報を発信し、より多くの観光客が鹿教湯温泉を訪れることが期待される。

令和元年度 地域発元気づくり支援金事業評価一覧

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (①:ソフト事業 ②:ハード事業)	総事業費(円)		コメント
							うち支援金額	
48	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト・ハード	地域のママたちの「やりたい」を応援！スキルアップ講座事業	信州親子さんぽ	小さな子どもがいる家族が地域に出かけやすくするための情報マップの作成を通じて、ママたちがスキルアップすることで「自信」をつけ、さらにはスキルを「仕事」に繋げることを目的に、スキルアップ講座を開催した。 ①印刷費等(875千円)	875,206	648,000	ワークショップを開催し、子連れで出かけることの悩みの共有、問題解決のための意見や情報を集積しながら、お出かけマップを作成することができた。作成したマップは好評となり当初の5,000部に2,000部増刷し、店舗の他、上田市内の全幼稚園、保育園等に配布された。また、スキルアップ講座の参加者が学んだスキルを活かして収入を得る等、スキルを仕事に繋げるという目的達成に向けた効果が出ている。
49	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	長和町たかやま地区 訪日外国人観光振興事業	たかやま活性化委員会	スキー場を中心としたたかやま地区のインバウンドを推進するため、スキー場における多言語対応の案内看板の設置や通訳機等を整備した。 ①パンフレット等の作成費、同時通訳機の購入等(2,092千円)	2,092,090	1,630,000	多言語対応の看板・表示パネル、利用案内、通訳機等を整備することで訪日外国人が安心して訪れることができる環境を整備することができた。また、オリジナルキャラクターのSNS発信ツールや外国語表記のパンフレット・リーフレットを活用したPRにより、たかやま地区のインバウンドが推進することが期待される。
50	特色ある観光地づくり	ソフト	誰にでも優しい青木村観光魅力アップ事業	信州・青木村観光事業推進協議会	インバウンドだけでなく、障がい者、高齢者など、誰もが観光をを楽しめるユニバーサルな受入体制を構築するため、研修会の開催とパンフレット等を作成した。 ①研修会費等(538千円)	538,739	365,000	地域住民を対象とした講演会の開催により、地域で観光客を受け入れる意識を高めるとともに、外国語表記の看板やパンフレットの作成・設置により外国人旅行者受入に向けた環境整備を進めることができた。
				50	50 事業	96,600,383	67,028,000	